気をつけて!ヘアアイロンでやけど事故

髪を巻いたり、ストレートにしたり、色々なヘアアレンジが簡単にできるヘアアイロン。老若男女問わずに利用される人気アイテムになっています。

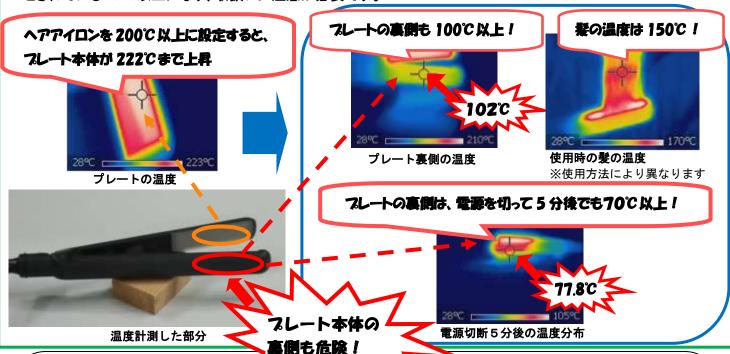
一方で、都内の消費生活センターに、10代~70代の男女からヘアアイロンを 使って、「皮膚をやけどした」、「髪の毛が焦げた」といった情報が寄せられています。



ヘアアイロンの思いかけない部分も高温になり、危険です!

ヘアアイロンを200℃以上の温度に設定し、使用時の機器各部の表面温度、使用後の余熱の温度変化について調べたところ、プレート本体の裏側も100℃以上の高温になり、誤って触れた場合にやけどの危険があることがわかりました。

また、髪の温度は150℃まで上昇し、同一箇所で使い続けた場合に焦げてしまう可能性がありました。 さらに、電源を切って5分後のプレート本体裏側の温度も、約1秒以上触れているとやけどをする危険がある とされている70℃以上になり、取扱いに注意が必要です。



▲ 注意しましょう!

- ★ヘアアイロンは、プレート本体だけでなく、 裏側や周辺部等が高温になることがあり、大変危険です!
- ★取扱説明書の注意事項を良く読んで、正しく扱いましょう!
- ★電源を切ってもすぐに温度が下がらないため、 十分に冷めるまで触わらないように気を付けましょう!

